

第8回奈良ESD連続セミナー概要報告

奈良教育大学 中澤 静男

開催日時：平成30年12月4日（火）19時～21時

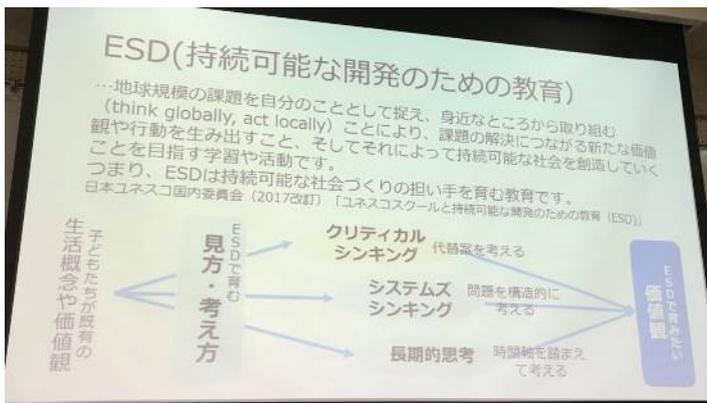
会場：次世代センター2号館

参加者：池見・西口（奈良市教委）、三木・樋口、河野（附属小）、中澤哲（平群北）、島（郡山西）、大西・阿彌（飛鳥小）、新宮（平城小）、藤田（京エコロジーセンター）
菱谷・阿部・藤本・山田・片山・西田（奈良教育大学学生）、中澤（奈良教育大学）

計18名

内容：実践事例の検討会

1. 「日本の食糧生産」(河野先生)



ESDの理論的解釈

児童の持つ生活的概念・価値観が学習を通して作り替えられていく

ESDの学習を通してESDで育みたい見方・考え方を身につける

→これを繰り返すことで価値観が育っていく

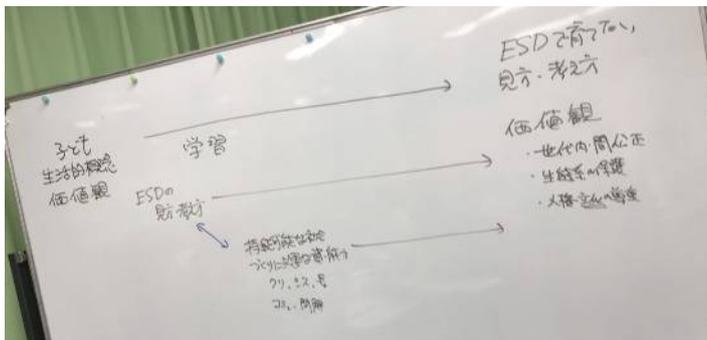
ESDの学習を通して資質・能力を身につける。

ESDで特徴的な資質・能力

クリティカルシンキング・

システムズシンキング・

長期的思考力



○私たちが食べている食べ物はどこから？ → 日本地図ではおさまらない

輸入相手国の事情で食料輸入に不安が ← 食料安全保障

北海道地震でもコンビニから品物がなくなった ← 輸入だけではない・国内事情も影響する

○なぜ食料自給率は下がったのか

他の国と仲良くしていたら、気にすることはない？

食生活の変化が影響しているのか

なぜ、国産品を選んで購入しているのか →安全だから ←でもトレーサビリティのことは知らない

安い方がいいのがお母さんの本音

○農家の声：後継者不足に困っている

○栄養士の先生の声

国産品の方がいい。特に地産地消がいい。

○国産品のメリット

「農業の基本的価値」

地域経済の活性化、雇用の創出、防災・減災、生態系の保全、気温の調節、文化の保護

○地産地消のデメリット

大量の注文に対応できない、高いことがある

気候の変動に対応できない、地域で生産できないものがある

○食料自給率をあげることより、地産地消を大事にすることの方が大切

消費者としてできること ①選んで買い物する ②地産地消

③外食はしない方がいい

(一年中同じものが食べることができるのはおかしい。量も決めることができない)

④地産地消のイベントに参加

※やった方がいいことはわかっているが、100%地産地消できないことを考えていくのがESD的。

2. 校区にある世界遺産ー春日山原始林 (阿彌先生)



・春日山原始林にはどんな生き物がいるのか

シカ、ヒル

・ヒルってどんな生き物 血を吸って生きている (主食はシカ・イノシシの血液)

湿ったところが好き

ヒルは春日山原始林を形成している、何かの役割を担っている

・ヒルが少なくなっている という問題

現在と 40 年前の写真の比較 下草がない、スカスカ

・下草が減っている → 乾燥 → ヒルにとって生活しにくい

→今の春日山原始林は、本来の春日山原始林ではない ← 世界遺産の条件を示すとよい
原因はシカの増加にある。

食べない植物だけが残っている

ナラ枯れという問題もある

・どうすればよいか

・どのような生物環境がいいのか?

いろいろな生き物がいた方がいい ← 昔の生き物の多様性をどのように示すか

○生き物のつながりを図に表す。それをつなぐ。← 原始林をシステムとして理解する

○実現可能性について、専門家にたずねてみる。

○世界の動植物の絶滅につなげる

○ヒルは生物多様性の指標になっている ヒルを切り口に生物の分布に目を向けさせる

○世界遺産としての価値をしっかりと理解させる

3. 「日本の自動車工業」(河野先生)

- ・日本の工業にとって自動車工業は基幹産業(12人に一人は自動車工業に関わっている)
- ・自動車のCM
- ・日本の自動車のよさ 快適・広さ・燃費・乗り心地
- ・年代ごとにニーズによって変わってきた自動車
- ・日本の自動車は海外でも人気
- ・日本の中古車は海外でも人気 日本語の表記をそのまま残している車がある
日本車をもっていることがひとつのステータス

○海外の人にとっての日本車の魅力

丈夫、壊れにくい、長く乗れる、修理できる

→日本人にとって当たり前すぎて、アピールポイントにならない

○丈夫で長持ちする自動車を支える部品 ねじ工場訪問

不適格品は引き取り(ほとんどない) →大量廃棄の原因←なんか、あかん気がする

- ・都市鉱山としてまた使える。
- ・自動車の部品の95%はリサイクルできる

○金属製品のつながりの図

○日本人はすぐに自動車を乗り捨ててしまう

- ・今あるものをもっと長く使うべき

4. 東大寺寺子屋での子どもの学び方をモデルにした世界遺産学習(新宮先生)

- ・東大寺にある様々なお堂について調べた
- ・東大寺の行事について調べた
- ・東大寺の僧侶について調べた

○すべてが大仏様とつながっていることに気づいた。

○東大寺は大仏様を中心としたシステム

システムとしてやっていること → 動植物ごとく栄える世の中にしたい

- ・様々なものをシステムとして捉える見方考え方で平城校区を再発見
平城校区の宝もの・価値・行事・人物などをマップにしてつながりを考えさせる

1月26日の韓国教職員のエクスカージョンチーム

西口さん、松浦君、池見君、三木君(都跡小)、中澤哲也君(平群北小)、(山方君・都跡小)
山方先生については未確認

次回は、1月7日(月)19時～

まだ出ていない指導案の検討と及川先生のご講演「ESDの最新情報」について学びます。